

1 題材名 こんなとき、どうすればいいのかな

2 児童の実態と個別目標

児童	題材における実態	題材における個別指導目標
A	- 自分の思いや気持ちを言葉にすることが苦手である。 - 友達との関わりの中で、相手の考えを優先して自分の気持ちを抑えてしまい、相手に思いを伝えることができない。	- 話したいことの要旨を捉え、相手にわかりやすく伝えることができる。【6-(2)】 - 場や相手の状況に応じて、適切な言動を考えることができる。【6-(5)】
B	- 気持ちが高ぶっている時など、自分が伝えたいことを正しく伝えられないことがある。 - 状況を理解し、状況によってどのように適切な言動をとったらよいか戸惑うことがある。	- 自分の特性を理解し、困った時にどう対応したらよいか考えて行動できる。【3-(3)】 - 状況を理解し、状況に応じて適切な言動をえることができる。【6-(5)】

3 指導にあたって

(1) 題材観

本題材では、特別支援学校学習指導要領自立活動の内容の6-(5)「状況に応じたコミュニケーションに関すること」を中心として設定した。自分のよさを考えることによって、よさを生かして集団の中で関わっていく力を付けることや、なりたい自分を考えることによって、目標をもった学習を展開し、通級指導の一層の効果を上げていくことができる題材である。ここでは、自分の特性や場面の状況を理解し、対応の方法を見つけられるように話し合いを深めながら、よりよい生活態度を身に付けていけるように支援していきたい。

(2) 指導観

指導にあたっては、まず、自分の得意・不得意を考えることで、自分の特性を理解するところから始める。よさを生かして生活できるようになるために、自分だけではなく担当教師と一緒に学習する友達とも話し合いながら進めていく。児童が2人で学習することによって考えを広げたり深めたりすることができ、相乗効果があると考え少人数での学習とした。その中で、実際に学級内で直面すると思われる場面を具体的に提示し、まずは個人で対応の方法を考え、さらにそれぞれが考えた対応の方法を話し合うことで、様々な対応策を学べる学習にしていきたい。そして、どのように振る舞えばよいかを理解し、自己調整力を身に付けられるようにしていきたい。また、繰り返し学習することで身に付き、学級において成功体験へとつながるように支援していきたい。

4 指導計画と評価(5時間扱い)

次	時	主な学習内容・活動	評価	
			A	B
1	1	自分と向き合う。 ・自分のいいところを知る。 ・なりたい自分について考える。	・自分のよいところを認めることができる。	・なりたい自分を考えることができる。
	2	どんな時に困るのか思い出す。 ・自分が困ったときの具体的な場면을伝える。	・困ったことを素直に打ち明けることができる。	・困ったことを相手に伝えるように話すことができる。
2	3 (本時)	具体的な場면을例にしてどのようにすればよいか考える。 ・どのように解決すればよいか考える。	・状況に応じた言い方や行動について考えることができる。	・相手や状況を理解し、適切な対応の仕方を考えることができる。
	4	具体的な場면을ロールプレイして実感する。 ・考えた解決方法を試す。	・状況に応じた解決方法を見つけて試すことができる。	・場面の状況を理解し、見つけた方法を試すことができる。
3	5	今までの学習を振り返る。 ・なりたい自分を確認する。 ・具体的な場面でどのように対応すればいいか確認する。	・自分についてわかったこと、解決のために考えたことを振り返り、自分の言葉で表すことができる。	・状況を正しく理解することや、解決の方法を言葉や文章で振り返り、自分の言葉で表すことができる。

5 本時の指導

(1) 目標

ア 全体目標

○ 状況に応じた適切な対応の仕方について考えることができる。

イ 個別目標

A：状況に応じた言い方や行動について考えることができる。【6-(5)】

B：相手や状況を理解し、適切な対応の仕方について考えることができる。【6-(5)】

(2) 準備・資料

トーキングゲームカード ジェスチャーゲームカード こんなときどうする？カード ワークシート

(3) 展開

学習内容	支援と評価 (◎評価 ★称賛 ☆合理的配慮)		
	全体	A	B
1 始めのあいさつをする。 あいさつをし、本時の学習内容と課題を確かめる。 こんなとき、どうすればよいかを考えよう。	☆本時の学習内容を提示して確認することにより、活動の見通しがもて、児童が安心して取り組めるようにする。	☆先の予定を示すことで、安心して活動に取り組めるようにする。	☆先の予定を示すことで、安心して活動に取り組めるようにする。
2 ウォーミングアップをする。 (1) トーキングゲーム (2) ジェスチャーゲーム	・ゲーム的活動を取り入れ、楽しい気持ちで学習ができるようにする。 ☆教師がモデリングすることにより、主体的に取り組めるようにする。	★日頃思っていることが素直に言えたら褒め、意欲を引き出すようにする。 ★相手にわかりやすいジェスチャーを出せたときは称賛する。	★相手に伝わるように意見が言えたら褒め、自信につなげる。 ★難しくても、あきらめずにジェスチャーを考えて出せたときは称賛する。
3 スキル学習・練習をする。 (1) 場面を理解する。 ①いつ、どこで、だれが何を、どうした、を明確にする。 ②ロールプレイで確認する。 (2) どうすればいいか考える。 課題1：「自分の作品がこわされたら」 課題2：「授業中に話しかけられたら」 ①ワークシートに自分の考えを書く。 ②お互いに考えたことを伝え合う。	・友達と関わりながらスキルトレーニングをすることで、相手を考えて適切な声かけができるように促す。 ・ロールプレイを通して、場面理解を深める。 ★自分の考えを書けたときは褒める。 ☆自分で考えることが困難な時には、対応の仕方の例をつくっておき、その中から選択できるようにする。	・場面の絵を見せて想像しやすくし、問いかけて状況を把握できるようにする。 ☆一緒にロールプレイを行うことで、安心して活動できるようにする。 ★一つでも考えを書けたときは褒め、難しいときは例を見てよいことを伝える。 目標とする児童の姿 ◎状況に応じた言い方や行動について考えることができる。 【行動観察・ワークシート】	・場面の様子を理解できるように問いかけながら聞いていき、状況を把握できるようにする。 ★自分で考えられたときは褒め、他に方法がないか声をかけながら支援する。 目標とする児童の姿 ◎相手や状況を理解し、適切な対応の仕方について考えることができる。 【行動観察・ワークシート】
4 振り返りをする。 ・学習を通して学んだことを伝え合う。	★よくできたことやできるようになったことを褒めて、次時への意欲につなげる。		

